



## エチオピア

## 家庭訪問調査【2】(中所得層)

## エチオピア連邦民主共和国 Federal Democratic Republic of Ethiopia



- 面積: 109.7万平方キロメートル〔日本の約3倍〕
- 人口: 9,410万人 (2013年 IMF)
- 首都: アディスアベバ

- 調査実施日: 2016年10月26日～11月14日
- 調査場所: アディスアベバ市 イェカ副都市 カバレ  
「アワレ」と呼ばれる地区で、小さな古い家が  
立ち並んでいる。
- 調査対象: ガザヒン(仮名)さんの一家〔中所得層: 7人家族〕
- 為替レート: 1ドル≒ 22.47 エチオピア・ブル  
(2016年12月20日時点、本文中は「ブル」と表記)



ガザヒンさん(仮名)一家の居住地域。  
小さな家が密集している。



## ガザヒン(仮名)さんの一家

家族構成	ガザヒン(仮名)さん: 58歳(高卒)	
	妻: 56歳(就学歴はないものの、読み書きはできる。)	親戚の子供: 17歳(女子、10年生)
	次女: 37歳(既婚、米国在住。夫と子供がいる。)	親戚の子供: 16歳(女子、9年生)
	三女: 33歳(大卒)	
	四女: 26歳(大卒)	※長女は29歳で病死している。
世帯収入	月収(税引き後): 9,800ブル 〔米国在住の次女からの仕送り: 約5,000ブル、三女: 1,500ブル、四女: 800ブル、家の賃貸による収入: 2,500ブル〕 約15年前に長女が亡くなる前は、ガザヒンさんと長女が家計を支えていた。 約5年前にガザヒンさんが退職。それ以降は次女・三女・四女で家計を支えている。	
職業	ガザヒンさん: 長年、アディスアベバ大学の食堂マネジャーを勤めていた(当時の月給: 1,500ブル)が、 約5年前に退職し、現在は無職。	
	妻: 主婦。家事全般を行っている。	
	次女: 米国の会社に勤務。	
	三女: 私立学校の教師、NGO勤務を経て現在はフリーランスの通訳として働いている。	
	四女: 会社員	

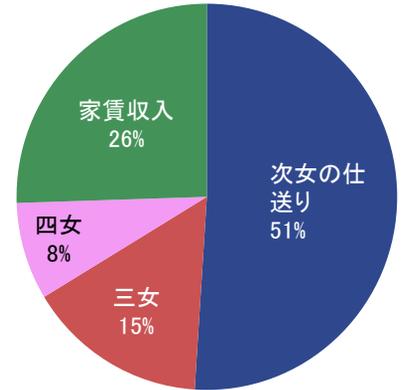


## 家計収支

### 世帯収入

	月収(ブル)
次女の仕送り	5,000
三女	1,500
四女	800
家賃収入	2,500
<b>合計:</b>	<b>9,800</b>

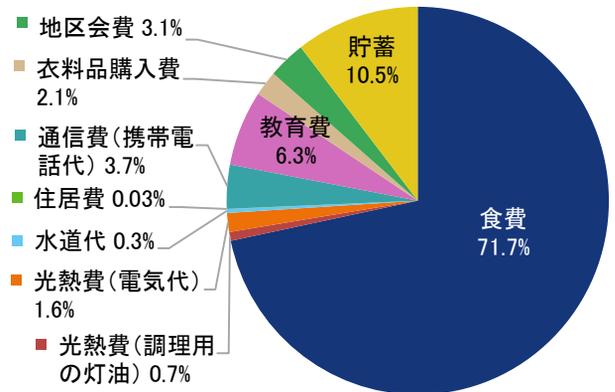
### 〔世帯収入の内訳〕



### 支出内訳

支出項目	月間支出金額(ブル)
食費	6,840
光熱費(調理用の灯油)	70
光熱費(電気代)	150
水道代	30
住居費*	2.5
交通費	100
通信費(携帯電話代)	350
教育費	600
衣料品購入費	200
地区会費	300
貯蓄	1,000
<b>合計:</b>	<b>9,642.5</b>

### 〔月間支出の内訳(単位:ブル)〕



※現在住んでいる住宅は「カバレ・ベット」と呼ばれ、社会主義時代(1974~87年)に政府が当時設定した家賃が賃上げされずに現在も継続されているため、非常に安い。



## インフラ事情

### ■電気

自宅まで電気が引かれている。平均すると週2回のペースで停電する。一度停電すると3～4時間は復旧しないことが多い。停電時の灯りとして、以前はろうそくを使用していたが、最近ではソーラーライトを使用している。必要に応じてソーラー発電システムのラジオ機能や携帯電話充電機能も使用する。

### ■水道

自宅に水道が引かれている。調理用には1日あたり約3リットル使用していると思う。飲料水としては、1日あたり約10リットルは使用しているのではないかと。洗濯は基本的には1週間に1度。自宅に浴室(シャワー室)があり、妻はほぼ毎日、ガザヒンさんと子供たちは3～4日に1度、あるいは週1回程度のペースでシャワー浴をしている。

### ■ガス

ガスは高価なので使用していない。調理用には電気コンロや灯油コンロを使用しているが、煮込み料理やコーヒーを沸かす際は木炭も使う。ガスより安価な薪や木炭も、近頃は値段が上がる一方で困っている。灯油の値段は落ち着いているが、慢性的に不足しているのか、買いに行くと大抵1～2時間の待ち時間が発生する。

### ■下水道・衛生設備

浄化槽式のトイレが1つ設置されている。1軒で共用しており、貸し部屋の賃借人も使用している。現在使用していて特に問題はない。シャワーについては近所と共用ではないので女性でも安心して使用できるが、温水機能がないため、雨季など朝晩が寒い時にはシャワー浴が億劫になる。約2年前に、中国製の小型のシャワー用温水器(ボイラー)を約900ブルで購入したが、使用し始めて数日で焼けたような臭いがして壊れてしまった。このため、現在に至るまで冷水シャワーで我慢することを強いられている。もし品質が確かな小型の温水器が入手可能であれば購入したいと思っている。

### ■ゴミの回収

週に1度、各家にゴミの回収がやって来ることになっているが、予告無しに1ヵ月近く来ないこともある。その際は、家族でゴミを抱えて近くの川まで運び、投棄している。近所も皆この方法でゴミを処理している。約2年前にゴミの収集システムが施行されたが、それ以前は皆このように近隣の河川に投棄していた。これは環境によくないのではないかと思いつつも、他に捨てる場所が無いので仕方なく思っている。毎週確実に回収されるように徹底してほしいと願っている。近年、ゴミの回収システムは水道公社の管轄となり、水道料金と合わせてゴミの回収料金も支払う仕組みとなっている。

また、近所一帯の環境を改善させるために、木を植えたりして今より緑を増やせたらと考えている。加えて、地区全体の住民向けにゴミの投棄やリサイクルについて教育の機会があるとよいと思っている。



## 住居

賃貸住宅ではあるが、社会主義時代に設定された非常に安い賃料で月額2.5ブル(約12円)となっている。しかし、同等レベルの家を賃貸すると、おそらく家賃は7,000ブル(約3万3千円)相当になると思われる。敷地全体で広さは約95m<sup>2</sup>ある。

住居の概況	
住宅の所有状況	賃貸
間取り	4LK(うち1部屋は貸し部屋)
面積	約20m <sup>2</sup>
電気	引かれている
水道	引かれている
トイレ・水回り	設備有り(貸し部屋の賃借人と共用)



# 住居

## ■間取り図



ガザヒンさん夫婦の寝室

家電製品は照明用の電球のみ。家具はベッドとクローゼット、コーヒーテーブル。壁に飾っているのは、エチオピア正教の宗教画。

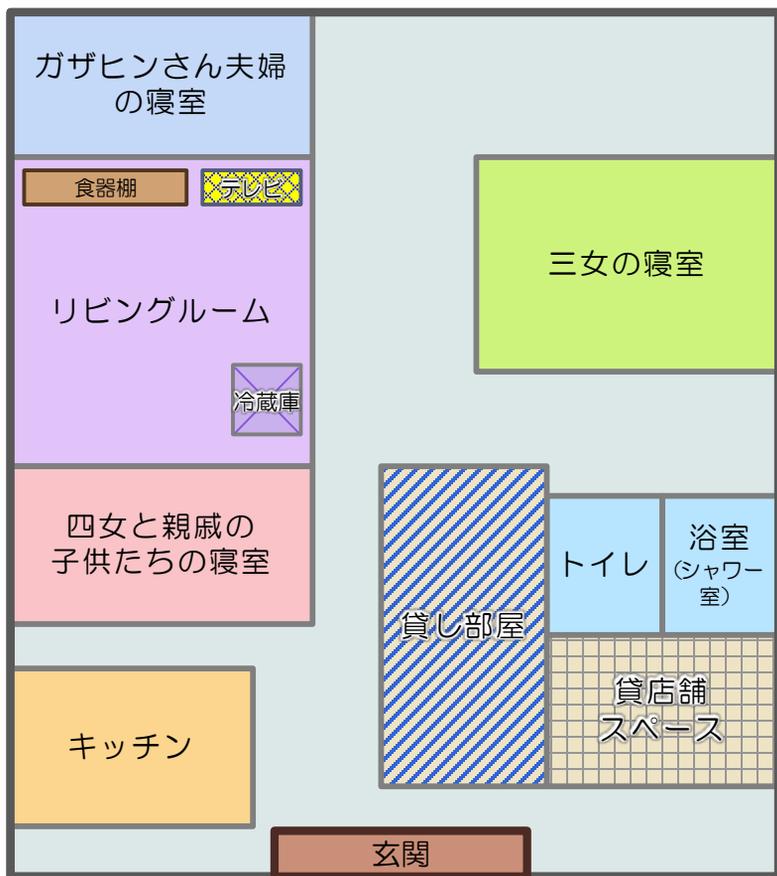


リビングルーム

(現地では通常「サロン」と呼ばれている)

家族全員が使用する部屋で、テレビやDVDプレーヤーが設置されている。

大きな食器棚に鍋やお皿を並べて飾っている、家族の写真が多く飾られている、宗教画が飾られている点は、エチオピア家庭でよく見られる光景である。



四女と親戚の子供たち(2人)の寝室  
1部屋を3人で使用している。



敷地への入り口(玄関)



三女の寝室  
1人で部屋を使用している。



## 所有家財・家電製品

品名	ブランド	購入価格(円)	備考
32インチ型テレビ	LG	7,500	2013年に、ピアッサにあるLGの直営店にて購入。
DVDプレーヤー	SAMSUNG	3,500	2014年に、ザフメシモール内にあるSAMSUNG直営店にて購入。
固定電話	—	80	8年前に購入。
携帯電話(妻の名義)	SQ	500	1年前に購入。ほぼ毎年買い替えている。
電気インジェラ焼き器	(エチオピア製)	650	約7年前に個人経営のメーカー専門店で購入。
	(エチオピア製)	1,800	最近、以前と同じ店にて購入。
電気パン焼き器	(エチオピア製)	1,600	約2年前に、インジェラ焼き器と同じ店で購入。
電気ケトル	PHILIPS	1,400	2016年に、メキシコ地区にあるETELCOと呼ばれるPHILIPS専売店にて購入。
フードプロセッサー	Oster	—	約10年前に米国の友人から贈られた。
電気コンロ	GLORY	3,100	約5年前にインジェラ焼き器と同じ店で購入。
灯油コンロ	—	35	約10年以上前に地元の市場にて購入。
冷蔵庫(2ドア型、322L)	SAMSUNG (インド製)	16,000	2014年に、ザフメシモール内にあるSAMSUNG直営店にて購入。
ソーラー発電システム (電灯、ラジオ、携帯電話充電機能付き)	—	1,500	2014年にマルカート市場にて購入。



LGの32インチ型テレビ

購入以来、特に故障もせず性能には満足している。



SAMSUNGのDVDプレーヤー



固定電話



妻の携帯電話  
通話さえできればよい  
ので、高い物は買わない  
ようにしている。



電気インジェラ焼き器

インジェラ焼き器は、田舎では薪を使うタイプが多いが、都市部では電気で動くタイプを使う家庭が多い。約7年前に購入した物(左写真)の枠が割れてきたため、最近新しい物(右写真)を同じ店で購入した。



エチオピア製の電気パン焼き器

インジェラ焼き器と同じ店で購入した。エチオピア特有の、厚みのあるパンを焼くのに使用している。



## 所有家財・家電製品



PHILIPSの電気ケトル  
市場に出回っている他の類似品より  
価格が高いが、特に中国製品はすぐ  
に壊れてしまうため、長年使う事を見  
据えてこちらを購入した。



仏ブランドOsterのフードプロセッサー  
エチオピア料理には常に大量の刻みタマ  
ネギを使うため、大変重宝している。10年  
経っても壊れず、しっかりとした品質で大変  
気に入っている。  
ユーザーとしても重宝している。



電気コンロ(写真左)と灯油コンロ(写真右)



SAMSUNGの冷蔵庫



大きさも十分であり、特に  
不便さもなく、満足している。



ソーラー発電システム  
大きな問題は無いが、段々  
電球の明るさが落ちてきて  
いるのが気になっている。



ソーラーライトの灯り

### ■ 今後購入したい家電製品等

今後購入したい物は洗濯機。現在、洗濯は全て手洗いであり、布  
団などの大きなものはクリーニング店に出すが、衣服等は月300  
ブルで外注している。洗濯機があれば外注する必要がなくなるも  
のの、手が届く範囲の価格で耐久性に優れているものを探すの  
は苦勞する。大きな買い物なので慎重に検討している。価格と  
耐久性が良ければ二槽式でも構わないと考えている。



## 食生活・食事

### ■ 食材の購入

#### ● 生鮮食品:野菜類

週1~2回、近所の青果店で購入。

#### ● テフ(主食のインジェラ用)と豆類

年に1度、親戚の農家より購入。(市場で購入するより約30%ほど価格が安い)

#### ● パン

2週間に1度、近所のパン屋で購入。

#### ● 肉類

週に1度、近所の精肉店で購入。



パン(価格は1.25~1.5ブル程度)  
エチオピア人はパンも大好きでよく食べる。  
なお、パンは「生活必需品」とされている  
ことから、15%の付加価値税の対象外と  
なっている。



■ 食材の購入

● 加工食品

近所の「スーク」と呼ばれるキオスクのような小さな商店で、必要に応じて購入。

(よく購入するもの: 「サルサ」と呼ばれる濃縮トマトソース、スプレッド類、粉類、マジ等の調味料、ツナ缶等)



トマトペースト

「サルサ」と呼ばれている濃縮タイプのトマトペースト。パスタを作る時、生トマトだけでは発色が悪いのでよく使われる。缶入りもあるが、短期間で使いきれないことが多いので、普通の家庭では写真のような使いきりサイズが人気がある。



ピーナッツバター

パンにつけて食べるもの(スプレッド類)として、ピーナッツバターやハチミツなどがある。ピーナッツバターは、約10年前までは輸入物が多かったが、近年では複数社が国内で生産・加工しており、流通している商品の多くがエチオピア製品である。



ベーキングパウダー

近所のスークで12ブルで購入。マンダジ(揚げパン)やパンケーキ等を作る時に使用する。



バニラエッセンス(マルタ製)

パンケーキ等を作る時に使用する。近所のスークで20ブル。



ツナ缶

スークで25ブルで購入。値段は高くない。他のメーカーのものとは比べ、臭いがきつくない、味も食感もこちらの方が良かった。パンにはさんだり、パスタのトッピングにしたりして食べる。

■ 普段の食事



● ガンフーと紅茶

ガンフーはエチオピアの典型的な朝食としてよく食べられている。大麦、トウモロコシ粉、小麦粉、エンセツ(バナナに似た植物)の茎から抽出した、ブラと呼ばれるでん粉を材料にした健康的なもの。赤ちゃんが誕生すると、生後7日後を目処に近所の人を招き、このガンフーを振舞って祝う風習があり、日本の「赤飯」的存在ともいえる。



● コチヨ(皿の左側)、野菜(皿の右上)とチーズ(皿の右下)のおかず

インジェラがエチオピアの代表的主食であるが、南部に多くみられるエンセツ(バナナによく似た植物で、葉鞘と球茎からでん粉が取れる)のでん粉を使って焼いた「コチヨ」も、エチオピア人の間では人気がある。



## 食生活・食事

### ■ 普通の食事



#### ● エチオピア風パスタ

エチオピア人は主食としてインジェラの次に、スパゲティやマカロニをよく食べる。イタリアによる占領の影響もあるようだ。しかし、その調理方法や味付けには欧米と違いがある。パスタは日本人の感覚からすると「茹ですぎ」が普通。またソースはオイルをたっぷり使い、赤い唐辛子の粉などを混ぜることで、赤い色を強調し辛さを加える。日本でよく食べられているようなトマトソースやミートソースを作ると、現地の人には決まって不評である。辛さと赤の発色が足りないため、美味しくないと思われるようだ。



## 衣服、ファッション

現地で購入するものは限られているが、ガザヒンさん一家ではおおむね2カ月に1度、衣服を購入している。必要に応じて、アクセサリ類も月に1～2度購入している。

### ■ 購入場所

#### ● 衣服

アメリカにいる親族や友人が人づてに送ってくれる。必要に応じて地元でも購入するが、エチオピアのブティックは値段が高い上に品質も良くないので、あまり購入したくない。

#### ● 靴

ガザヒンさん夫婦のものは海外から送ってもらうが、子供たちのものは地元のブティック等から購入することが多い。

#### ● アクセサリー

イヤリングやブレスレットなど気に入ったものがあれば地元のコスメショップ、またはドバイやタイで買い付けてくる知人から購入している。月平均200ブル前後支出している。

### ■ 普段身に着けている衣服、ファッション

#### ● 男性

〔成人男性〕

茶系や紺系のジャケットを着用して、フォーマルな服装をしている人が多いが、所得レベルや職業によって異なる。

〔若い男性〕

Tシャツにジーンズが最も一般的。職場がきちんとした場所である場合は、カッターシャツにスラックス姿が一般的。

#### ● 女性

年齢に関係なく、結婚式披露宴やパーティ、夜に外出する際にはおめかしするのがエチオピア流。ノースリーブや露出度の高いドレスの着用率は日本より高い。ネックレス、イヤリング等も派手なものが好まれ、最も人気なのは大きなゴールドのアクセサリ。

〔フォーマル〕

教会に行く時や祝い事の際は、白を基調とした伝統衣装を着用することが多い。

〔年配の女性〕

普段は基本的に洋服。職場や外出時には、ジャケットにタイトスカート着用といった服装が多い。

〔若い女性〕

普段はTシャツにジーンズ(タイトなものが人気)やパンツといったスタイルが多いが、職場用にはワンピースやタイトスカート、タイトパンツにジャケットといったスタイルが主流。

洋服に加え、祝日はエチオピア伝統衣装のワンピースも人気がある。



白い伝統衣装を着た妻(写真左)とジャケットにタイトスカート着用の妻の妹(写真右)



## 衣服、ファッション

### ■ 普段身に着けている衣服、ファッション

#### ● 子供

日本や欧米と同じスタイルが主流。所得が低い家庭では、スタイルを選んで着用するというより古着やお下がりが多い。

洋服に加え、祝日はエチオピア伝統衣装のワンピースも人気がある。



四女の普段着



親戚の子供たちが着るカジュアルな普段着



【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。